

第1回 益城町子ども議会

広安西小

益城中央
村上雄盛

子どもの視点で提案や意見

1

11月22日、第1回益城町子ども議会が町議会棟本会議場で開催されました。子ども議会は、益城町の将来を担う子どもたちに、町政に対する質問や提案などをとおして、地方自治の仕組みを体験的に学習してもらうことを目的に町教育委員会が実施。町内の小・中学校から22人の子どもたちが参加しました。

議事は、参加した児童・生徒の中から選ばれた福田航輝君(益城中2年)と山口由依さん(木山中2年)が議長・副議長を務め進行。子どもの視点でとらえた将来像や課題についての意見や提案などが町執行部に出され、町議会の一般質問と同じ形式で質疑応答が行われました。

子ども議会 質疑応答(抜粋)

問 総合福祉センター建設について



④ 稲田美月議員
広安小6年

総合福祉センターを建設されるそうですが、そこはどういう場所になるのですか。また、私たち子どもは、どのように利用できるのですか。

答 住民健診など、健康づくりの重要な点として整備を計画しています。

昨年から、役場職員による研究チームが整備改修についての検討を重ね、住民団体や町議会の議員さんなどで構成された建設検討委員会で、施設の機能や面積、建設位置について話し合い、

将来にわたって皆さんが使いやすい場所となることを念頭に、場所や交通の便、経済性などの角度から候補地の選定を進めています。

新しい施設は、予防接種や住民健診健康講座・相談など、健康づくりの重要な点として整備を行います。新たな機能として、「児童館」を設置し、皆さんが放課後や休みの時に、自由に使えるようになります。また、親子での活動をはじめ、児童クラブや各種サークルを開き、一人でも仲間同士でも利用できるようにします。

問 運動公園や郷土歴史博物館の建設について



⑥ 有隅遼太郎議員
益城中央小6年

町の所々に小さな公園はありますが、熊本市のようなアスレチックがあつて